



R2年度実施にあたっての課題

- ①緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルス感染の第2波、第3波が来た時に会議の開催が難しいのではないか(ウェブ会議で成立するものだろうか)。
- ②今後、ウィズコロナ、ニューノーマルという言葉が出てきているように、世の中を取り巻く状況が大きく変わろうとしている。今この状況下で策定した戦略が、果たして令和3年から使えるものとして扱えるだろうか。(戦略とその時の状況の大きなミスマッチが起きないか)

戦略策定にあたり追加検討が必要となった事項

- ①しばらく状況を見ないと、コロナ後の状況というのは見えてこないなので、追加で情報を収集し検討する必要がある
- ②コロナ後の国の経済対策に対応できるよう、準備をしておく必要がある。
- ③市内に大規模ホテルの新規開業を控え戦略が後手にならないようにする必要がある。
- ④これまでのインバウンド一辺倒の国策は見直される可能性が高いため情報収集と追加検討の必要がある。



事務局としての考え方(R2、R3の到達目標)

R2年度

- ①戦略策定にあたり追加で情報収集・検討をする必要が出てきたため、それに要する期間も必要となり、2カ年で観光戦略を策定するスケジュールは見直し、3カ年での策定とする。
- ②R2年度に3回の専門部会を開催し、現状を見守りながら「新型コロナウイルス感染症の影響」、「犬山らしさの追加検討」、「観光戦略会議への報告まとめ(骨子の見直し)」を行う。
- ③予算が限られているため、業務委託は行わず、服部部会長の指導のもと、**観光課の自営**で実施。
- ④観光戦略会議へは、年度末から年度明けに共有し、R3年度に観光戦略会議の開催が滞りなく行えるよう進めるものとする。

R3年度

- ①R3年度は、当初計画していた2カ年目の戦略策定スケジュールを基に進め、年度末に答申を行い、戦略策定を完了する。

今後のスケジュール概要(予定)

令和2年度

観光戦略策定
スケジュール
の見直し決定

専門部会
1回目
10月22日

専門部会
2回目
1月14日

専門部会
3回目 3月

中間意見
取りまとめ

親会議へ
情報共有
3月末orR3

到達目標

令和3年度

専門部会
1回目
7月

観光戦略
会議1回目
8月

専門部会
2回目
10月

専門部会
3回目
11月

観光戦略
会議2回目
12月

答申
(完成)

到達目標

・新型コロナウイルス感染症の影響
・犬山らしさの追加検討